

# 北小ベルマークボランティア

## <ベルボラのはじまり>

大量生産・大量消費・わずらわしいことを後回しにしてきた時代を反省し、ものを大切にする心を育てるには、今何をすべきか。親子で考えながら活動していきたいと考えた数名の保護者が当時の校長先生を訪ね、ベルマーク運動をやりたいと相談したところ、理解をしてくださり、学校としても活動への協力をしてくださることになりました。また、北小全保護者へボランティアの募集をしたところ、17名の方が参加してくれることになり、平成12年度より毎月2回の活動が始まりました。

## <目 的>

1. ベルマークを集めて、設備品を購入し、児童の学校生活の充実を図る。
2. ベルマーク教育助成財団の仕組みを知ること、身近なボランティア活動への参加の仕方や内容を学ぶ。
3. ベルマーク活動を通して、子供たちに「人に対しての優しさや思いやり、ものを大切にする心」を伝える。

## <ベルボラに参加してみた感想>

- 学年の違う保護者といろいろな語り合いながらの作業は楽しい。
- 作業は単純なので、難しくないし、備品が購入できたりするとうれしい。
- 子供達の「こんにちは」の挨拶がうれしい。
- 切って、貼ると、動作が単純なせいか夢中になってしまい、ストレス解消になる。
- 学校に足を運ぶ回数が増えたので、学校の様子や先生を知る機会が増えた。
- 北小のベルマーク活動を知り、近隣の町からわざわざベルマークを学校まで持って来て下さった方がいてうれしかった。
- 地域の回収ボックスに激励のお手紙が入っていてうれしかった。
- 活動場所から校庭での子供たちの様子が見えるので楽しい。

